

## ラーニング・サポーター ♪ 9月のつぶやき -JWUラーニング・コモンズさくらより-

図書館 2 階 JWU ラーニング・コモンズさくら(以下「さくら」と略)では、学科・専攻推薦を受けたラーニング・サポーター(本学大学院生)が学修相談を受け付けます。学修相談以外にもミニ講座の開催や「さくら」の活動支援をしながら、感じたこと、思ったことを「つぶやき」、本学学生の皆さんに学修相談に訪れてもらいたいと思っています。ラーニング・サポーターは「さくら」で皆さんをお待ちしています！

### <9月のつぶやき♪INDEX>

- p1 学会で北海道へ @A.N.(物質・生物機能科学専攻博士課程前期2年) 9月28日 tweet  
 p1 エドワード・ゴリーを巡る旅 @T.R.(英文学専攻博士課程前期2年) 9月19日 tweet  
 p2 旅の支度 @M.A.(人間発達学専攻(児童学)博士課程後期3年) 9月23日 tweet

### つぶやき1 ♪ 学会で北海道へ

みなさん、こんにちは。9月上旬は記録的な残暑が続いていたにもかかわらず、最近はずっと涼しくなりましたね。朝は肌寒く、薄い長そでを羽織って通学していると、だんだんとムシムシしてきて服装調節が難しい時期です。体調を崩しやすい時期でもあるかと思しますので、みなさん健康には気を付けて下さい。さて、私は9月の中旬に学会で北海道へ行きましたので、今回はその内容についてつぶやきたいと思います。

今回私が参加したのは北海道大学で開催された化学系の学会です。北海道へ最後に行ったのは中学2年生、14歳で行った家族旅行でしたので、実に10年ぶりの北海道でした。

3泊4日の日程で訪問したのですが、毎日天気にも恵まれ、かつ東京では残暑が続いていた時期にも関わらず北海道は湿度も気温もちょうどよく、とても快適な陽気でした。札幌のホテルへ到着した後、早速会場の大学へ行きました。北大はとても広く、緑も豊で素敵な大学でした。翌日には私のポスター発表がありました。1.5時間の発表でたくさんの方々が来て下さり、良いディスカッションができたのと同時に、頂いたアドバイスをどんどん試したいな、と良い刺激を受けることができました。さらに、他の学生の発表資料や発表の仕方など、伝え方が上手な方ばかりで、自分ももっと頑張らねばと思えました。私の修論発表日は2/13.14です。それまでの残り時間を大切にしたいと思います。また、北海道滞在中は海鮮丼、豚丼、味噌ラーメン、ジンギスカン・など名物をたくさん食べることができました。どれもとっても美味しく元気が出ました。次は家族や友人とゆっくり観光に訪れたいと思います。

上記でも書いたように、修了までの日程が近づいています。今後は10月に修士論文の中間発表会、12月には学会で韓国に行く予定です。今回学んだことを活かして研究に励みたいと思います。このつぶやきを読んでくださったみなさんも、お仕事や勉強など一緒に頑張りましょう。

### つぶやき2 ♪ エドワード・ゴリーを巡る旅

長かった夏休みが終わり、新学期が始まりましたがみなさまどうお過ごしでしょうか。私は、修士論文の執筆や発表準備でばたばたとした夏でした。そんな中、先日横須賀美術館で開催されていた「エドワード・ゴリーを巡る旅」という展覧会を見に行ってきました。今回はこの展覧会についてつぶやこうかと思えます。

エドワード・ゴリーとは、不思議な世界観とモノトーンの緻密な線で表現するアメリカの絵本作家です。絵本というジャンルでありながら、不条理で残酷な世界と徹底して韻を踏んだ言語表現を用いることで「大人のための絵本」として世界中に熱狂的なファンを持ちます。日本においても柴田元幸氏が翻訳されていることもあり、一度は目にしたことがある方も多いかもしれません。やはり代表作である『ギャッシュリー・クラムのちびっ子たち—または遠出のあとで』が

#### 理学研究科 物質・生物機能科学専攻 博士課程前期2年

◆ 経歴

本学 理学部 化学生命科学科 卒業

◆ 資格

教員免許(中高理科)

◆ 職歴

本学附属高等学校にて理科の非常勤講師

◆ 研究内容

$\beta$ -MnO<sub>2</sub>表面上でのPt(II)イオンの吸着・酸化還元反応機構

学修で悩んでいることがありましたら、気軽に相談にきてくださいね。一緒に考えましょう。お待ちしております！！



有名かと思います。今回の展示は、アメリカ東海岸の半島に残るゴーリーの邸宅に作られた記念館、ゴーリーハウスで開催されてきた企画展から、「子供」「不思議な生き物」「舞台芸術」などのテーマを軸に約 250 点の作品と資料で構成されたものでした。ゴーリーは主著以外にも挿絵、舞台と衣装のデザイン、演劇やバレエのポスターなども手掛けていたようで、特に舞台芸術に関わるものへのデザインは興味深く、主著の独特な世界観への影響なども考えながら展示を楽しみました。ショップにはポストカードや資料とともにジグソーパズルがあり、買ってその日のうちに完成して部屋に飾りました。デザインは数種類あったのですが、特に Dancing Cats というイラストが気に入っていて、クッキーでジャグリングをしている猫や蝶の羽が生えた猫など全部で 9 種類の猫が描かれたものです。ゴーリーは子どものころから猫好きで、人生の多くの時間を猫と共に過ごしました。ゴーリーの猫に対する想像力とゴーリーの世界観に落とし込まれた猫を部屋に置くことができ満足な夏の思い出になりました。

## 文学研究科 英文学専攻

### 自己紹介

文学研究科 英文学専攻  
博士課程前期 2年

### 研究対象

アメリカ文学  
→現代作家ポール・オースター

### ひとこと

英文学科の学生、教職履修されている方はもちろん、お役に立てることであればその他学修相談もお待ちしております！

### [参考 URL]

「エドワード・ゴーリーを巡る旅」

<https://www.yokosuka-moa.jp/archive/exhibition/2024/20240706-852.html> (最終閲覧日:2024年9月19日)

## つぶやき3♪ 旅の支度

夏休みに旅行をした。ここのところ、学会や調査、小学生の宿泊行事への引率など、「行かざるを得ない遠出」はよくしていたが、「遊びの旅行」は久しぶりで楽しみな予定だった。しかし、楽しい予定にもかかわらず荷物の準備ができない。面倒くさすぎて。仕方なく行く旅でもないのに、結局出発の朝にパッキングをすることになった。朝から疲れすぎて行程1日目は使い物にならないし、絶対に良くないのはわかっているが、気合をいれないとどうにもできない。

まずスーツケースを広げられたら第一段階クリア、早い時間にここがクリア出来ないとまずい。ここから先は必要なものを詰めていく作業だが、遠出をすることも増えて用意しなければならないものはちゃんと頭に浮かんでいる。浮かんでいるからこそ、今からこれ全部用意しなきゃいけないんだと急にやる気が失せて、とりあえず他のことよ。というのがお決まりのパターンである。旅行中の服装も考えなきゃいけないし、何といっても面倒くさいのがシャンプーやクレンジングを小さい容器に詰め替えることだ。前に一緒に旅行した友達は、詰め替え作業のストレスをなくすために、家においてあるボトルや瓶ごと全部を持ってきていた。国内で1泊旅行なのに信じられない荷物の重さ…でもストレスフリーではある。

帰りの日、チェックアウト前に荷物を詰める作業も好きではない。家で準備をするときに比べればたいしたことはないが、帰ったらすぐ洗濯できるように細かい洗剤はまとめておきたいし、お土産もできる限り詰めておきたい。割れ物は服に包むとか、ちゃんとしまいたいと思ったら考えることはいろいろある。

帰りの空港で、一緒に旅行をした妹のスーツケースを私が開ける機会があった。「これ入れといて」と言われて蓋を開けて「あっ」となった。服に混ざって充電器から飴のような小さいお菓子まですべてがそのまま入っている。おもちゃ箱の中みたいな感じ。えっと袋とかは…？驚いたあと、蓋を閉めながら笑ってしまった。こんなスーツケースが身近にあったなんて！ごちゃごちゃ考える必要なんてなかったのだと思った。

## 人間生活学研究科 人間発達学専攻 博士課程後期3年(児童学)

- 経歴  
本学 家政学部児童学科 卒業  
本学 家政学研究科児童学専攻(修士)卒業
- 資格  
保育士 / 幼稚園教諭 / 小学校教員
- 研究分野  
「向社会的行動(思いやり行動)」について研究  
幼稚園や小学校にて参与観察を行い、質的分析を行っています

「教職は両立できるかな」  
「卒論のテーマが決められない」  
「発表スライドを見てもらいたい」…  
ちょっと誰かに相談したいなというときは  
ありませんか。  
皆さんと一緒に考え、答えを出すための  
お手伝いをします♪





ラーニング・サポーターのつぶやき (2024年9月)

ホームページ [https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc\\_ls.html](https://lib.jwu.ac.jp/lib/lc_ls.html)

編集: JWU ラーニング・コモンズさくら